

福島をまるごと紹介！

Fukuまる



会津鉄道

JR東日本磐城西線

JR東日本磐城東線

福島交通飯坂線

鳴呼!! 旅情 ローカル線でさすらい 福島路

乗り鉄、撮り鉄、呑み鉄、音鉄……。鉄道ファンの世界が広がりに続いている。福島県を走る数々のローカル線も、愛好家の心をわしづかみにする存在感を放っている。水害からの復旧を遂げたJR只見線は有名なが、他にも味わい深い路線は多い。そんな旅情溢れる魅惑のローカル線に揺られ、気の向くまま途中下車を繰り返しながら、沿線の名所や名店を訪ね歩き、そこで輝く達人たちに出会う……。さすらいの福島路へさあ出発しよう。

東北エネルギー懇談会では、福島県の復興支援を目的として、地域の商工会議所などのご協力を得ながら、福島県の魅力を、冊子と特設サイトで紹介しています。今回は福島県の観光支援として、電気新聞特別号「Fukuまる／まるごと福島 ローカル線特集」（タブロイド判8ページ）を発行しました。本誌のこのコーナーで「Fukuまる」誌面を転載してご紹介します。「ひろば」読者の皆さまも、ぜひ福島県のローカル線と観光情報をお楽しみください。

- 企画：東北エネルギー懇談会
- 協力：福島商工会議所・福島交通株式会社／会津鉄道株式会社・株式会社三春まちづくり公社・一般財団法人田村市滝根観光振興公社・一般財団法人会津若松観光ビューロー
- 発行：2026年7月
- 発行所：一般財団法人日本電気協会新聞部 電気新聞メディア事業局

名物横丁 さすらい日記



旅といえば、やっぱり「ふれあい」。旅先で人との温かい交流を求めるなら、横丁ほど魅力的な場所はない。表通りから一歩奥に入った路地裏を彩るネオンや提灯のあかり。福島県のローカル線を降りたら、その土地ならではの名物横丁の暖簾をうつろくぐりたい。そこに漂う香りや人々の声に包まれながら、旅情を味わい、旅の疲れを癒したい。

夜明け市場 (いわき市)

いわき駅前で賑わう復興のシンボル

磐城東線の起点、いわき駅から徒歩3分にある夜明け市場は、東日本大震災で被災した飲食店オーナーやいわきを盛り上げた集まった起業家が出店する横丁だ。かつて映画ロケにも使われたレトロな飲食店街「白銀小路（しろがねこうじ）」をリニューアルし、2011年11月に誕生した。明けの夜はないが言葉の復興のシンボル的な横丁で、そこにはスタリッシュな独特のムードと復興という名の活気が満ちあふれている。



<https://www.touhoku-yoake.jp/>

横丁の達人1



ぎょさいてい 和楽魚菜亭 代表 北郷 清治さん



おでんと福島の地酒

北郷さんは高校卒業後、東京・新宿で6年間料理人として修業を積み、故郷のいわきへ戻ってからはゴルフ場のレストランで30年間料理人として腕を振るってきた。「もって若い人に魚の美味しさを知ってほしい」。そんな思いから、ゴルフ場を辞め、いわき市久ノ浜地区に居酒屋・和楽魚菜亭を開店した。しかし、開店から間もない2011年3月、東日本大震災の津波は北郷さんから魚菜亭を奪い去ってしまった。それでも立ち止まらなかった。同年11月、いわき駅前に横丁「夜明け市場」がオープンすると聞き、迷わずそこで魚菜亭を再開した。北郷さんは語る。「夜明け市場は昔の商店街のように、店主同士がふれあて助け合いながら仲間になれる横丁なんだ。今日まで店が続いているのは、食べに来てくれるお客さん、支えてくれる仕入れ、そして横丁の仲間たちのおかげ。感謝してもしきれないよ」。



常連客の根本さん、従業員のバームさんと

ふくしま 横丁 (福島市)

福島商工会議所青年部の企画から生まれた屋台横丁

福島交通飯坂線の起点・福島駅から徒歩7分にある「こらんしょ横丁」は、2006年7月、福島市置賜町のバセオ通りで産声をあげた。横丁のテーマは、「全・気・軽・適・価・ふれあい」。屋台だからこそ生まれる店主と客のふれあい、客同士のコミュニケーションを大切にしている。横丁には地産地消の店舗が並び、この日も遅くまで賑わっていた。

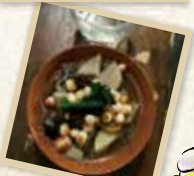


<https://www.koransyo.com/>

横丁の達人2



こぼし あねさの小法師 女将 岩橋 香代子さん



会津の郷土料理「こづゆ」

岩橋さんは日本体育大学で体育教師の免許を取得し、出身地・会津で公務員としてのキャリアをスタートさせた。職場では社会教育主事資格を取得し、住民スポーツ教育の企画・立案を担当。地域のスポーツ振興に深く関わっていた彼女、大きな転機をもたらしたのが東日本大震災だった。原子力発電所事故に伴う避難所で炊き出しボランティアに参加した際、会津の郷土料理「こづゆ」を浪江町からの避難者に振る舞ったところ、涙を流して喜ぶ姿に郷土料理の力を再認識。さらに、当時は県産日本酒が風評被害で全く売れない時期もあった。こうした経験から岩橋さんは、2013年8月、福島市のこらんしょ横丁に県産食材と県産日本酒のみを扱う店・あねさの小法師を1年契約で開店した。「お客さんは家族。店には不思議な出会いがあるから、人と人とのつながりを大切にしたい。そうしていたら、1年で会津に戻らざるを得ないが、気がつけば13年目に入ってしまったのよ」と岩橋さんは笑う。現在は、スポーツ少年団の指導者を育成する福島県スポーツ少年団指導者協議会で副会長を務める一方、横丁の風情を守るリーダー的存在として仲間から尊敬の念を込めて「村長さん」と呼ばれる横丁の達人である。

とつなばし 十綱橋

1915年完成の我が国現存最古級の全長52mの鋼アーチ橋。2020年には国の有形文化財に登録された。夜の橋本体が摺上川の川面に反射する景色は絶景だ。

歌人・与謝野晶子は十綱橋を「飯坂のはりかね橋に 雫するあづまの山の 水色のかぜ」と詠っている。

福島市飯坂町字十綱下29
飯坂温泉駅徒歩1分

飯坂温泉のシンボルは土木遺産

壮麗なアーチ橋



花水坂駅

飯坂のコミュニティ役として
地域との共生を目指す
複合型カフェ

オノデラ百貨店

1階はカフェで、福島県産果物を使ったドリンクやスイーツの他、福島市内の果物加工業者や和菓子店などとコラボしたメニューを続々と開発中。湯上がりコーデをテーマに、イラストレーター・mameさんのデザインによるコースターをはじめ、風呂桶やタオルなどのオリジナルグッズも販売中だ。2階には24時間利用可能なコワーキングスペースを併設し、カフェメニューを楽しみながら地域の多世代が交流できる複合型スペースを提供している。

福島市飯坂町字西滝ノ町15-6
024-542-3331
営業時間:10:00～16:00(火・水・木曜は17時半まで。不定休)
飯坂温泉駅徒歩8分



1階カフェで楽しめるスイーツ

片岡鶴太郎美術庭園

天衣無縫な鶴太郎作品は、見る人の心を解きほぐし癒しの時間に誘ってくれる。売店では原画、絵はがき、複製画等が豊富に取り揃えられている他に、レストランでは庭園を楽しみながら食事ができる。また、2024年6月には隣に世界初の葉っぱ切り絵の美術館「リトリフアートミュージアム」がオープンした。

福島市飯坂町字銀杏1-13
024-542-0555
開館時間:9:30～17:00(年中無休)
https://www.matsuya-inc.com/gallery
花水坂駅徒歩1分



橋の前に立つ松尾芭蕉像



隣接するリトリフアートミュージアム

感性の華が薫る
鶴太郎ワールド

昭和初期創業の
地元の精肉店の
コロッケに感動

川又食肉店

共同浴場「鱒湖(さばこ)湯」の近くのため、カレー風味のコロッケは湯上がり後の街歩きのお供にピッタリ。注文してから揚げてくれるため、いつでも生パン粉のサクサク感を楽しめる。食感を残すために大きめに切られた玉ネギ、豚肉、鶏肉と粗ごしのジャガイモで作られたコロッケは、まさにコロッケの教科書だ。

福島市飯坂町字湯町25 024-542-4251
営業時間:10:00～13:00、15:00～18:00(火・水曜定休)
飯坂温泉駅徒歩8分



カレー風味のコロッケが人気



鉄道概要

福島交通飯坂線

福島駅と飯坂温泉駅の約9kmを結ぶ。「飯坂電車」や「いい電」という愛称で観光客や地元住民から親しまれている。毎月開催している電車運転体験会は人気。



https://ii-den.jp/



医王寺

源平合戦で源義経に仕え、最期まで義経に忠誠を尽くした佐藤継信・忠信兄弟ら佐藤一族の菩提寺。境内には松尾芭蕉が兄弟を偲んで詠んだ句の石碑が建っている。義経ファンの聖地のひとつで、初夏には多くのアジサイが彩りを添える。

福島市飯坂町平野寺前45
024-542-3797
参観時間:8:30～17:00
(冬季は16:30まで)
https://www.iou-ji.or.jp/
医王寺前駅徒歩15分



義経と継信・忠信兄弟の立像

奥州藤原氏一門・
佐藤一族の菩提寺



医王寺本殿

医王寺前駅



上松川駅

福島市北沢又字下八計4-32
024-558-3970
営業時間:7:00～19:00
(日曜定休)
上松川駅徒歩3分



福島駅



桜水駅



車両の
運転体験ができる
「いい電」ファンの聖地

桜水車両基地

現役車両14両の保守・点検を行っており、イベント開催時には普段は見ることのできないメンテナンス中の車両を様々な角度からじっくりと見学できる。また、結婚式等のイベント用に車両の有料貸切や、毎月1回有料で車両の運転体験会も行っている。基地に隣接する桜水駅ではDVDやいい電グッズが購入できる。

福島市笹谷古字屋前2-5 024-558-4611(福島交通)
桜水駅徒歩1分

車両の点検光景は必見



沿線の達人①



オノデラ百貨店 四代目代表
小野寺 大樹さん

オノデラ百貨店は小野寺さんの曾祖母が大正末期に飯坂で開業した洋品店で、実父が継承したもののバブル崩壊の影響で閉店した後、近年は長らく空き家となっていた。

一方で小野寺さん自身は、1992年に両親が立ち上げた薬局と介護事業を引き継ぎ、以降地域医療と福祉に携わってきた。しかし、地元・飯坂地区は人口減少などにより衰退が進み、地域の未来に危機感を抱くようになる。労働力の底上げがなければ人材確保は難しいと考えた小野寺さんは、Uターンのきっかけとなる場所を飯坂に創りたいと決意。飯坂を再び活気ある地域へと復活させるため、2023年にかつてのオノデラ百貨店をリニューアルし、洋品店ではなく多様な価値を生み出すためにコワーキングスペースとカフェを複合させたコミュニティ施設・オノデラ百貨店を復活させた。

復活したオノデラ百貨店では、飯坂を離れた人々へメッセージを発信し、食材は地元産を使用。働き手には同級生や幼なじみの家族を迎え、温泉地ならではの物産販売もメニューに加えるなど、地域コミュニティの再生を軸に据えている。

こうしたコミュニティ再生事業の傍らで小野寺さんは、いわき市薬剤師会副会長や「NPO法人おりの会」理事長も務め、地域包括ケアの専門家としても活躍中だ。最も注力しているのは認知症をはじめとした高齢者福祉で、自分たちの世代の老後を少しでも明るいものにしたいという思いが原動力となっている。この日も、地域の歴史と未来をつなぎ、沿線の魅力を熱く語ってくれた小野寺さんは沿線の達人だった。

めんたい いち 麺や大一

磐梯山麓から湧出する温泉水を煮詰め採取した**会津山塩**は海塩と比べ味がまろやか。この会津の誇り・山塩と、会津地鶏、国産豚骨、焼きアゴで仕上げた透明なスープを合体させたのが**麺や大一の会津山塩らーめん**だ。現在の二代目店主・**薄井大周さん**の手により、**美術品のように美しい山塩らーめん**の進化は止まらない。

進化する美しい会津山塩ラーメンにうっとり



会津山塩ラーメン

会津若松市滝沢町6-22
営業時間:11:00~14:30
(スープがなくなり次第終了。水曜定休)
会津若松駅徒歩10分



ガラス樽で発酵・熟成を行う

県産ぶどう100%使用のワイナリー

昭和化工(株)果樹研究所

福島県産ぶどうを100%使用し、国内では珍しいガラス樽で発酵・熟成を行うワイナリー。ガラスならではの雑味のない環境で仕上げることで、ぶどう本来のフレッシュで澄んだ果実味が際立つワインが完成する。工房では見学や試飲、販売のほか**オリジナルラベル**の作成も楽しめるため、旅の思い出づくりにもピッタリだ。

猪苗代町大字千代田字千代田3-7
0242-62-5500
営業時間:9:00~16:00(月曜定休)
<https://www.hondawinery.co.jp/>
猪苗代駅徒歩5分



喜多方駅

会津若松駅

猪苗代駅

喜多方昭和レトロレーヴ

蔵とラーメンの町・喜多方で異彩を放つ**レトロ玩具店**。店内には昭和30~50年代の懐かしいプラモデル、ミニカー、ブリキ玩具、ソフビ人形、ヒーローカード、漫画雑誌等がズラリと並び、マニアなら**一瞬で涙腺が崩壊**する。毎年12~3月は休業。

喜多方市字3-4786 0241-22-0010
営業時間:10:00~15:00(12月~3月定休) 喜多方駅徒歩11分

店内に入れば誰もが
童心に帰るレトロ玩具店



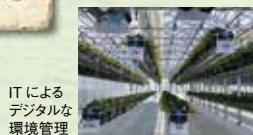
マニア垂涎の品々が並ぶ店内

道の駅前 猪苗代いちご園

夏秋期にも実をつける**四季なりいちご**を栽培し、一年中いちご狩りが楽しめる**珍しいいちご園で、多彩な品種の食べ比べ**ができるのも魅力。

園内は**気化熱冷却システム**により**夏でも快適な環境**が整っていて、**上下自動昇降式の栽培棚**の採用により、腰を曲げずに楽な姿勢で摘み取りが楽しめる。先進設備と快適な環境が揃った**特別感のあるいちご狩りスポット**だ。

一年中
いちご狩りが楽しめる
全国でも珍しい
いちご園



猪苗代町大字堅田字下田4
0242-93-5570
営業時間:10:00~16:15(通年営業)
<https://15aizufarm.com/>
猪苗代駅徒歩20分

園内は**気化熱冷却システム**により**夏でも快適な環境**が整っていて、**上下自動昇降式の栽培棚**の採用により、腰を曲げずに楽な姿勢で摘み取りが楽しめる。先進設備と快適な環境が揃った**特別感のあるいちご狩りスポット**だ。

猪苗代町大字堅田字下田4
0242-93-5570
営業時間:10:00~16:15(通年営業)
<https://15aizufarm.com/>
猪苗代駅徒歩20分



沿線の達人②

喜多方昭和レトロレーヴ 代表
佐藤 雄一さん

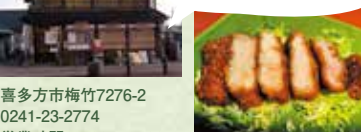


月~金曜日は自宅のある郡山市で建設会社を営み、週末は実家のある喜多方市でレトロ玩具店レーヴを営む**二刀流**の佐藤さん。戦車のプラモデルコレクターでもある佐藤さんが喜多方で店を開いたのは、かつて喜多方のイベント「レトロ横丁」に飛び入り出店した際、知人に勧められたことがきっかけだった。そして2018年、ついに故郷に**喜多方昭和レトロレーヴ**を開店させる。

「売れそうなものを仕入れていたら、いつの間にかこうなっていたんです。遠くから観光に来てくれた**お客様に「スゴい!」「一日中見ていても飽きない!」**と言ってもらえるのが嬉しくてやめられせんね」と、佐藤さんは微笑む。インタビュー当日も、商品の陳列ケースの前で旅行中の親子連れが歓声を上げると、佐藤さんは嬉しそうに表情をほころばせていた。

「やらなければ何も生まれない。やってみなければ何もわからない。これをやったらどうなるだろう、と考えながらこれまで生きてきました」と、ウイスキーを傾けながら語るこの日の姿は**沿線の達人**だった。

会津、喜多方の味の
素晴らしさを
一軒で楽しめる店



会津名物
ソースカツ

喜多方市梅竹7276-2
0241-23-2774
営業時間:11:00~14:00、
17:00~22:00(不定休)
<https://aizu-inakaya.com/>
喜多方駅徒歩15分



鉄道概要 ばんえつ さいせん JR東日本 磐越西線

郡山駅から会津若松駅を経由し、新潟県の新津駅までの約175kmを結ぶ路線。臨時快速列車「SLばんえつ物語」が運行している(冬季を除く)。会津若松~新津間の愛称は「森と水とロマンの鉄道」。



鉄道概要

JR東日本 磐越東線

いわき駅と郡山駅を結ぶ約85kmの路線で、愛称は「ゆうゆうあぶくまライン」。福島県内のみで完結する唯一のJR線。毎年4月の週末には三春~郡山間で臨時列車「三春滝桜号」が運行される。



三春の里田園生活館・アウトドアヴィレッジ三春

田園生活館には新鮮野菜の直売所、土産売場、レストラン、日帰り入浴(サウナ有り)、マッサージ、宴会場があり、屋外ではグランドゴルフが楽しめる。宿泊施設は本館とコテージがあり、コテージはペットとの宿泊も可能。2025年4月にオープンしたアウトドアヴィレッジ三春には、アウトドアブランドの**モンベル三春店**、三春町出身の登山家・**田部井淳子記念館**がある。また、施設内ビジターセンターではキャンプ、カヤック、レンタサイクルの受付も行っている。

三春町大字西方字石畑350-1 0247-61-6789
営業時間(ビジターセンター):9:00~18:00(年中無休)
<https://miharu-outdoor.jp/>
三春駅車10分



福島・三春の
自然を満喫できる
多様な施設が
充実



田部井淳子記念館

郡山駅

三春駅

神保駅

江戸時代の
人形づくりが
今も息づく
人形工房集落



伝承の
郷土玩具がずらり

高柴デコ屋敷

デコ屋敷とは人形屋敷の意味。ここは郷土玩具・三春駒と三春張り子人形発祥の地で、今でも工房が4軒あり、各家が所有する**人形木型は県重要文化財**に指定。**絵付け体験**もできる(10人以上の団体は要予約)。

【高柴デコ屋敷観光協会】
郡山市西田町高柴字館野169
024-971-3907
<https://www.gurutto-koriyama.com/detail/203/index.html>
三春駅車6分



小野新町が生んだ
昭和を代表する
作詩家の記念館



おかしお

丘灯至夫記念館

作詩家・丘灯至夫は1917年小野新町出身。その明るい人柄から作品も「高原列車は行く」「東京のバスガール」「高校三年生」「修学旅行」などの**青春歌謡**が多い一方で、「ハクション大魔王」「みなしごハッチ」「カバトット」「煙の木モック」といった昭和を代表する**アニメソング**も数多く手掛けた。名曲「ねこふんじゃった」も丘の作品だ。

小野町大字小野新町字中通2
0247-72-2120
開館時間:9:30~18:30(月曜休館)
小野新町駅徒歩8分



さんくるげ

「さんくるげ」は地元で**ひっくり返す**の意味で、亡き母の口癖でもあった。両親が営んでいた寿司店を改装し**2019年に開店**。営業時間は**平日7時から12時のみ**(材料がなくなり次第終了)。しかし、店主が厳選した素材の旨味を引き立てたスープと自家製麺のコンビネーションを堪能するために、近隣ばかりではなく遠方からも客が集う。

田村市滝根町神保梵天川52 0247-78-2552
営業時間:7:00~12:00
(スープがなくなり次第終了。土・日・祝日定休)
<https://sankuruge.jp/> 神保駅徒歩1分



小野新町駅

いわき駅

洞内最大の滝根御殿

一滴の地下水が
織り成す大自然の
造形美



あぶくま洞

全長4218.3m、公開部約600mの洞内は、鍾乳石や石筍などの**神秘の世界**のオンパレード。洞内最大のホール**滝根御殿**(高さ29m)では他で見ることでない貴重な鍾乳石を間近で鑑賞できる。**鍾乳洞初の調光システム**採用で幻想と神秘の世界へ誘われる。

田村市滝根町菅谷釜山1
0247-78-2125
営業時間:8:30~17:30
(年中無休)
<https://abukumado.com/>
神保駅徒歩5分



鉄道概要

会津鉄道

西若松駅～会津高原尾瀬口駅を結ぶ第三セクター。
路線距離は約57km。会津の雄大な景色を堪能できるよう、
お座敷・トロッコ・展望を組み合わせた「お座敷展望列車」が運行されている。



<https://aizutetsudo.jp/>



浅草発・東武快速列車
リパティ号からの乗換駅

会津田島駅舎

会津鉄道お座敷展望列車の起点・終
点駅。駅構内の売店には角打ち感覚で南
会津の地酒を堪能できる**立呑み処ちびと**
が、駅舎隣には1944年製の蒸気機関車
C11-254号が保存されている。

南会津町田島字西番場甲358-3
0241-62-0065
<https://aizutetsudo.jp/station/aizutajima/>



会津田島駅

往時の風格を今に伝える
和洋折衷建築の傑作



旧南会津郡役所

1885年落成の**擬洋風木造建築**は県指定重
要文化財。古代ギリシャ建築を思わせる円柱、日
本城郭の雰囲気も漂わせる千鳥破風、欄間には
ステンドグラスを用い、**文明開化**
の息吹を今に伝える建築物だ。

南会津町田島丸山甲4681-1
0241-62-3848
開館時間:9:00～16:00(火曜休館)
<https://www.kanko-aizu.com/miru/kankou/33664/>
会津田島駅徒歩9分



太古百万年の歴史が
創り出した絶景

塔のへつり

百万年もの長い年月をかけて、**浸食と風化**を
繰り返し創り出された景観。奇石怪石が塔のよう
にそそり立つ太古のロマンは**国指定天然記念物**
である。**へつり**とは会津
地方の方言で川に迫っ
た断崖や急斜面という
意味である。

下郷町大字弥五島字下タ林
0241-69-1144
(下郷町商工観光係)
塔のへつり駅徒歩6分



藤見橋



国指定天然記念物ならではの景観

塔のへつり駅

「ここに来てよかった」と
思わせる蕎麦の名店

蕎麦柏屋

会津田島駅ロータリー前に店を構える1952年
創業の老舗蕎麦店。地元民から広く愛され、蕎
麦の他にうどん、丼モノ、さらにはラーメンもライ
ンナップ。蕎麦と地酒で会津田島の味と空気を
堪能できる。

南会津町田島後町甲3972-6
0241-62-0348
営業時間:11:30～15:00
会津田島駅徒歩1分



5種類の蕎麦が楽しめる割り子そば



湯野上温泉駅舎

日本でも珍しい**茅葺屋根**の駅
舎で、春は桜が列車を出迎える。
待合室には**囲炉裏**で火が焚かれ、
駅舎の横には足湯が併設されてい
る。**大内宿**行きのバスが発着する
駅でもある。

下郷町大字湯野上宇大島
0241-68-2920
<https://aizutetsudo.jp/station/yunokamionsenstation/>



囲炉裏と
足湯が楽しめる
茅葺屋根の駅



湯野上温泉駅

うえんで食堂本店

1972年創業の老舗で**会津山塩ラーメン**の名店。甘味を感じ
る透き通ったスープ、小麦の風味香る熟成多加水麺、シンプル
でありながら奥深い味は絶品だ。芦ノ牧温泉駅近くの本店では
ラーメンの他に**豚肉の焼き鳥**もラインナップ。

会津若松市大戸町上三寄大豆田11-3
0242-92-3253
営業時間:9:00～15:00(品切れ次第終了、火曜定休)
<https://uende.jp/> 芦ノ牧温泉駅徒歩5分



沿線の達人③



うえんで食堂 代表
佐藤 和幸さん

会津若松市出身の佐藤さんは明治大学を卒業後、都内の**大手人材系企業に就職**した。その後、顧客として関
わっていた**IT系コンサルティング会社**からヘッドハンティングされ、大企業向けの社内システムのコンサルティング・
開発・販売に携わるようになる。しかし2011年2月、佐藤さんは会社を退職し、家族を連れて故郷の会津若松へ
Uターンする決断を下す。

帰郷後は、福祉施設で働いていた叔母に請われ、施設の一般事務職員として勤務していた。ところが施設が深
刻な人手不足に陥ると、いつの間にか介護現場に立つようになっていた。現場で働くうちに国家資格の必要性を
痛感した佐藤さんは、介護福祉士と社会福祉主事の資格を取得。やがて**福祉施設のマネージャー**として全国規模
の会議に出席するなど、再び広いフィールドで活躍するようになっていった。

そんな佐藤さんに新たな転機が訪れたのは2015年のことだった。祖父父母が創業し、実母が引き継いでいた**うえん
で食堂**を、佐藤さんが**三代目**として継承することになったのである。

当時のうえんで食堂は**焼鳥の名店**として知られていたが、食堂経営を安定させるには**「武器となるラーメン」**が不
可欠と考えた佐藤さんは、**会津特産の山塩**を使ったラーメンの味を徹底的にブラッシュアップし、店の新たな看板
商品へと育て上げた。その挑戦はすぐに成果を生む。関東の大手百貨店から催事への出店依頼が毎年届くよう
なり、うえんで食堂の名は瞬く間に全国へ広がっていったのである。

佐藤さんの心には、ITコンサル時代の上司から教わった**「王道に奇策なし」**という言葉が今も息づいている。この
日も**「店が王道を突き詰めていれば、必ず長く愛される」**と語る佐藤さんは、会津山塩ラーメンを通して故郷・会津若
松をより多くの人に知ってもらうための戦略を次々と描いていた。現在、うえんで食堂は県内に4店舗を構えるまで
に成長している。「いずれは山塩ラーメンを全国へ、そして海外へ」と熱く語るその姿は**沿線の達人**だった。

デジタル田園酒場 かんます

デジタルと伝統が融合する
新感覚の体験型居酒屋

会津の酒文化を新たな形で発信するデジタル田園酒場かんま
す。店内には二次元コードを読み取って操作する新開発の日本
酒ディスプレイ「**のまっせ**」が設置され、会津24蔵の銘酒から
好みのものを選び、少量ずつ飲み比べ
ることができる。料理には、地元会津産
の食材や旬の恵みを活かしたおつまみ
が並び、地酒との相性も抜群。さらに世
界でただ一人の**唎酒師VTuberほのり**
が来店客を迎え、日本酒の魅力をオンラ
インとリアル両面から発信している。
伝統とテクノロジー、そして人の温か
みが交わるこの空間で日本酒の新しい
楽しみ方が体験できる。

会津若松市大町1丁目2-54
0242-93-5515
営業時間:15:00～21:00(水曜除平日)、
11:00～21:00(土曜)、水・日曜定休
<https://kanmasu.com/>
七日町駅徒歩10分



日本酒ディスプレイのまっせ



会津といえば馬刺し



老舗ラーメン店で食す
会津山塩ラーメンと
焼き鳥に感動

